

## 第6学年2組 学級活動（3）指導案

### 1 題材「これからの自分にできること」 学級活動（3）イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

#### 2 題材について

##### （1）児童の実態（男子17名 女子17名 合計34名）

本学級の児童は、6年生になってからこれまでに様々な場面で与えられた役割に責任をもって取り組んできた。委員会活動やふれあい活動などのリーダーとして活動を考え、実行したり、運動会の係活動では、それぞれの係の分担に進んで行ったりするなど、学校全体を動かす経験を積み重ねてきている。学級の中では、必要な分担について皆で話し合い、一人一役の当番活動を設定することで、自分の役割に責任をもって取り組めるようになってきている。

「6年生になってからの活動に意欲的に取り組んだか」というアンケート調査の結果から、「とても」と回答した児童は、委員会活動で13名、ふれあい活動で14名、運動会の係活動では25名、1年生サポートで29名という結果だった。「少し」と回答した児童が“とても”にできなかった理由として、「自分は進んで活動したが、上手くいかないことがあった。」「計画を立てる際には進んで意見を発表したけど、最後まで実行できていないときもあった。」という記述があった。

※学級規範測定調査“シグナルⅡ”の結果から、「行事や学級の活動に積極的な学級」「学級の事は進んで行う」の項目への肯定的回答はともに90%を超えている。また、「先生の指示がなくても行動できる」の項目についても87.5%と高い数値を示している。しかし、全体的な数値の高さから、自分たちの活動に対して正確にとらえられていないのではないかと考えることもできる。前述のアンケートの結果と合わせて考えても、本当はもっとできるのに、現状に満足してしまっているという課題が浮かび上がってきていると言える。

※シグナルⅡ…千葉市教育センター刊

##### （2）題材設定の理由

本題材は、学級活動「（3）一人一人のキャリア形成と自己実現」の内容「イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解」として計画した題材である。この内容の「清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要となることについて主体的に考えて行動すること。」について取り扱う。

学習指導要領解説特別活動編では、この内容において育成を目指す資質・能力として、「学級や学校のために友達と力を合わせて働くことの意義を理解し、工夫しながら自己の役割を果たすことができるようにすることが考えられる。」が挙げられている。

そこで、自分が取り組んできた活動について振り返る中で、自分の役割を果たすことのすばらしさについて考える本題材を設定し、働くことの意義について考えるとともに、「自分に何ができるのか」を考えることは将来のなりたい自分を実現する上で大切であると気付けるようにすることで、更にこれからの活動に主体的に取り組むことができると考えた。

本題材を扱うにあたって、自分にできることを考える際に、どのような場面で取り組んできたのかをとらえさせる。具体的には、学級での当番活動や係活動、委員会や1年生との活動、地域での活動など、活躍する場面を整理するということである。また、自分が設定しためあてを定期的に振り返る活動を継続することで、めあてがさらに深まったり、違う目標が生まれたりするようにしていきたい。

### 3 研究主題とのかかわり

本部会の研究主題・研究仮説は以下の通りである。

#### 研究主題

「自主的、実践的に活動し、生きる力を身に付けた児童生徒の育成」  
－主体的・対話的で深い学びの実現を通して－

#### 研究仮説

- (1) 学級活動等の集団活動において、集団の実態を踏まえ、一人一人の児童生徒の課題意識や役割分担を明確にし、活動の過程を具体的につかませ、主体的に活動に取り組みせれば、児童生徒の集団への帰属意識や活動での達成感が高められ、自主的、実践的態度が育つであろう。
- (2) 学級活動等の集団生活において、課題の設定・確認、解決方法の話合い、解決方法の決定、決めたことの実践、振り返りまでの一連の過程を「実践」と捉え、目指す資質・能力を明確にしたうえで意図的・計画的に指導に当たれば、深い学びにつながるだろう。

本授業では、仮説（2）についての検証を試みる。

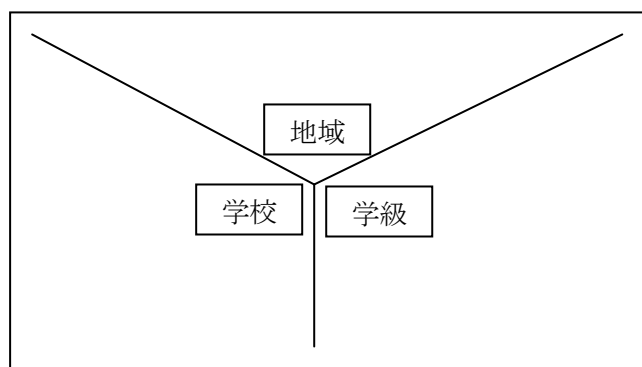
#### 仮説（2）について

学級活動等の集団生活において、①課題の設定・確認、解決方法の話合い、解決方法の決定、②決めたことの実践、振り返りまでの一連の過程を「実践」と捉え、目指す資質・能力を明確にしたうえで意図的・計画的に指導に当たれば、深い学びにつながるだろう。

#### ・研究の視点① 話合いを活性化させる思考ツールの活用

児童が「自分にできること」を考える際に、どのような場面で活躍できるかを示してから話し合わせるようにする。話し合う前に「学級」「学校」「地域」の3つの観点を教師側から示して、それぞれの観点について小グループの中で意見を出し合うことで、自分では思いつかないことにも目を向けられるようにしていきたい。話合いでは、思考ツール「Y チャート」を使い、3つの観点に分けたホワイトボードを使用しながら意見を出し合っていく。そうすることで、あまり意見が出ていないところについても考えることができ、意思決定をする際に「自分にできること」を見つける手掛かりになるであろう。「学級」は児童が学校生活を送る上での基盤となる場所であり、「学校」は様々な活動を通して関わってきた。話し合う際に「地域」について意見があまり出なかった場合には、地域の活動を想起させるような写真を提示し、イメージを膨らませることができるようにする。

全体での共有の際には、ホワイトボードで示した3つの観点ごとにグループの中で出た意見を整理していく。そうすることで、共通している部分や、グループでは出なかった考えに気付くことができたり、より自分に合った活動を選択できるようになることで、活動への意欲につながっていけばと考えている。



・研究の視点② 主体的な課題の設定や振り返りを大切にした学習過程

本題材では、児童一人一人が今まで様々な役割を果たしてきたことや上手くいかなかったことなどを取り上げ、これから「自分に何ができるのか」について考え、意思決定していく。

本時で個々に「自分に何ができるのか」を考え、設定しためあてを定期的に振り返ることができるように、「めあてカード」を使用する。本題材を進めるにあたって、めあての設定から、実際に活動したことを振り返るといった一連の活動の流れをつかませた上で、振り返る活動を大切にしていきたい。めあてを決めて、実践しただけでは児童の変容を見取ることは難しい。月ごとに振り返る時間を設けることによって、自身の設定した活動について課題を見つけ、改善策を考えることで、よりよい活動にしていくためのツールとして活用していきたい。そうすることで、設定しためあてを達成していくための工夫が生まれ、自己の役割を果たすことができるようになっていくと考える。また、「めあてカード」は教室の壁面に掲示し、いつでも見られるようにしていく。月ごとの振り返り際にはクリアポケットから取り出し、書き加えていくことで、自分の設定しためあてを達成していく成就感を味わわせていきたい。

振り返りを行うことで、自身のめあてを更に深め、活動する中でめあてが変わっていく児童も出てくると考えられる。その際には、「めあてカード」のめあての部分を変更したり、書き加えたりすることで、柔軟に活動していくことができるようにしていきたい。

4 第5学年及び第6学年の評価規準 【自己実現】

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
自分を取り巻く集団生活においてどのような役割があるか知り、役割を果たすことの意義について理解している。	自己のよさを生かし、自分が目指す姿を意識して、これからどうしていきたいか意思決定している。	決めためあてや活動に取り組む中で、これまでの自分との変容を意識し、継続して実践しようとしている。

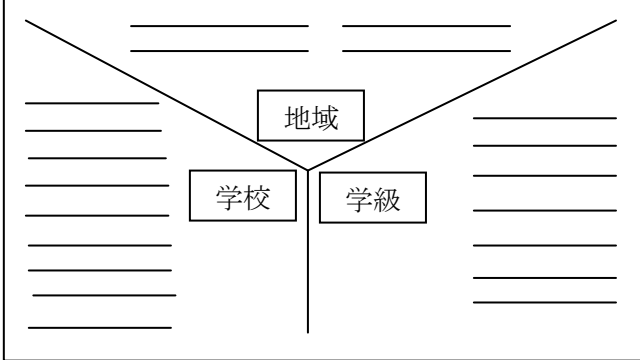
5 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点
○6年生になってから取り組んできた活動についてアンケート調査を行う。	○各活動についての取組みについて聞くだけでなく、取り組んでみて「上手くいかなかったこと」や「やりたくなかった時があるか」等について聞く。 ○集計したものをグラフにまとめ、本時に活用する。

6 本時の展開

○本時のねらい 自分の果たしてきた役割について知り、目指す姿を意識しながら、これから何ができるか考え、意思決定することができる。

過程	児童の活動	○指導上の留意点 ☆評価
つかむ	<p>1 今の自分の役割について振り返る。</p> <p>○事前のアンケートに書いたことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動を頑張ってきた。</li> <li>・ふれあい活動で楽しい遊びを考えた。</li> <li>・運動会の係で自分の役割を果たせた。</li> <li>・クラスのプロジェクト活動で、みんなが楽しめるように工夫した。</li> <li>・1年生サポート隊で、朝の支度や計算カードの練習を手伝った。</li> </ul>	<p>○事前の活動で、今まで頑張ってきたことについてのアンケートを実施し、自分の担ってきた役割を考えられるようにする。</p> <p>○みんなのために頑張っていることを振り返らせるとともに、上手くいかなかったことやできていない部分にも目を向けさせる。</p> <p>○活動を想起しにくい場合は、活動に関わる写真を見せながらイメージしやすいようにする。</p>
さぐる	<p>2 役割を果たすことに反する心について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい活動で、下学年に指示をうまく出せなくて、まとめることができなかった。</li> <li>・委員会活動で意見を発表することができなかった。</li> <li>・期日が決まっていた提出物が間に合わないことがあった。</li> <li>・遊びたい気持ちが強くて、面倒に思うことがあった。</li> </ul> <p>3 自分が目指す最高学年としての姿について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下学年に優しくできる6年生。</li> <li>・自分で考え、行動する6年生。</li> <li>・責任感のある6年生。</li> <li>・思いやりのある6年生。</li> <li>・誰とも関わられる6年生。</li> </ul>	<p>○それぞれの活動についてうまくいかなかったことについて問いかけ、弱い心は誰にでもあることに気付かせる。</p> <p>○意見が出てこなかった場合は、事前のアンケートの記述の中からいくつか紹介することで、自分事として捕えられるようにする。</p> <p>☆自分を取り巻く集団生活においてどのような役割があるか知り、役割を果たすことの意義について理解している。 (発言)【知識・技能】</p> <p>○自分が卒業までにどのような自分になりたいのかイメージをもたせることで、自分にできる活動を考える際に参考にできるようにする。</p> <p>○具体的に思いつかない児童については、後期の始めに書いた掲示物を参考にしよう指示する。</p> <p>○目指す姿が書けた児童には、実現するために何ができそうか考えるよう伝えておく。</p>

見 つ け る	<p>4 目指す姿に近づくために、どのようなことができるか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動でもっと積極的に意見を言えるんじゃないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループに分かれて話し合う際に、「学級」「学校」「地域」の3観点に分けられたホワイトボードを使用し、それぞれについて意見を出し合うよう指示する。</li> </ul>
見 つ け る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残り少ないふれあい活動の遊びを、みんなが楽しめるように考えよう。</li> <li>・プロジェクト活動を充実させて、クラスがもっと楽しくなるようにしよう。</li> <li>・今まで以上に掃除を丁寧に行おう。</li> <li>・地域の人にももっと大きな声で挨拶ができるんじゃないかな。</li> <li>・ベイトウンのイベントに参加できると思うな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループで意見を出し合い、意見をホワイトボードに書き込んでいく。意見が少ない観点については、写真や事前のアンケートを提示し、イメージしやすいようにする。</li> <li>・活動に対して前向きになれるよう、友達の意見を受け止め、励まし合いながら話し合うよう助言する。</li> </ul>
		
決 め る	<p>5 小グループごとに出た意見を発表し、観点ごとに整理する。</p> <p>6 話し合ったことをもとに、これからの自分に何ができるかワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「優しい6年生」を目指して、これからは1年生ともっと遊びたい。</li> <li>・「誰とでも関われる」ように、地域の人にも進んで明るく挨拶をしてみたいな。</li> <li>・「責任感」をもてるように、自分の掃除分担場所を時間になるまで一生懸命きれいにしたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書に整理する際には、ホワイトボードと同じようにYチャートの形で整理することで児童の思考を整理する。</li> <li>・板書に整理していきながら、児童には他のグループから出たアイデアを参考にするように指示する。</li> </ul> <p>☆自己のよさを生かし、自分が目指す姿を意識して、これからどうしていきたいか意思決定している。(ワークシート・発言)</p> <p style="text-align: right;"><b>【思考力・判断力・表現力】</b></p>

<p>・「自分で考えて行動できる」ように、先生や親に言われる前に行動できるように予定を欠かさずチェックしたいな。</p>	<p>・これから頑張りたいことを数名、全体に伝えてもらう。その際に、頑張ろうとする意欲を称賛することで、全員が自分の頑張りたいことを肯定的に捉えられるようにする。</p>
--	---

## 8 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<p>○自分の立てためあてや取り組みなどが実践できているか振り返り、ワークシートに記入する。</p> <p>○新たに考えた取り組みをワークシートに書き加えたり、新たなめあてに更新したりしたものを掲示フォルダに入れる。</p>	<p>・定期的なめあてや取り組みが実践できているかを振り返ることで、継続していけるようにする。 (月末のクラスパワーアップタイムを活用する。)</p> <p>・取り組みの様子を可視化することで、継続する意欲を維持できるようにする。</p> <p>・新たなめあての設定や付け足しを可能にすることで、自分の活動を工夫・改善する場にしていく。</p>	<p>決めためあてや活動に取り組む中で、これまでの自分との変容を意識し、継続して実践しようとしている。 (めあてカード)</p> <p><b>【学びに向かう力・人間性等】</b></p>

## 9 板書計画

11/19 (火) 「これからの自分にできること」 めあて 自分に何ができるか考え、めあてを決めよう。

つかむ アンケート結果から さぐる

どんな役割があるのかな？

委員会等の取り組みについてのグラフ

- ・委員会の当番。
- ・ふれあい活動で遊びを考えた。
- ・学級のプロジェクトで工夫して活動した。

見つける

決める

めあてをいくつか取り上げる。

上手いかなかった経験

- ・上手く説明できなかった。
- ・休み時間は遊びたいな。
- ・委員会で意見を言えなかった。
- ・提出期限に間に合わなかった。